

# 安平町の あの人 この人

祝退職！人生 雪だるま郵便局長



これからよろしくお願ひします。



早来雪だるま郵便局内で撮影  
(7月1日)



## 名物局長勇退

早来雪だるま郵便局長の  
真保生紀さん

6月30日に早来雪だるま郵便局長の真保生紀さんが退職しました。真保さんは安平町生まれで、追分の小学校・中学校、高等学校を卒業して上京。東京中央郵便局を振り出しに郵政職員一筋の始まりです。

昭和60年に早来郵便局(当時)の局長として赴任。就任した翌年には「雪ダルマゆうパック」の取り扱いを開始し、平成9年には局名を「早来雪だるま郵便局」に変更しました。

以後、雪だるまマスコットカーの制作や全国初の雪だるま型ポストを新設。また雪だるま関連商品を数多く考案し、平成元年のNHK紅白歌合戦では審査員にも選ばれています。全国に早来の知名度が高まり、当時の日本郵政公社の生田正治総裁が視察したほどでした。

## 夢を現実に

「子どものころから個性的で、

思いこんだら一途な性格」と母親の真保サダさん(追分本町)が語るように直情一徹な性格。周囲から反対されるほどフアイトが生まれ、賛同者を巻き込んで夢を実現してきました。「アイディア商品を創るのも大切ですが、商品開発にはストーリー性が必要。一つのものからの波及効果も大きい」とヒットの秘訣を話す反面、「いつも成功ばかりでは

なかった。数多くの失敗作。人生と同じ七転び八起きですよ」と笑い飛ばします。職場の一線から退き悠悠自適の生活。自由な時間を満喫している真保さんは雪だるまに関する新たな構想を描いているそうです。東京で「雪だるま郵便局長退職」の記事が載り、友人や知人からメッセージが寄せられたというほど交際範囲が広

い真保さんは「人脈は私のかけがえのない財産ですよ」と感激しています。「発想は尽きることはありません。清水のごとくわいてくる」と言い切り「ごだわり」と「挑戦」することの大切さを心の支えに第2の人生を歩んでいきたい」と斬新な夢に向かって目を輝かせていました。

## 日系ブラジル人との深い友情の輪



「初めての海外はブラジルでした」と関東地区を拠点に活動している安平町出身のプロ歌手の正木はじめさん。今年2月に日本人ブラジル移住100周年記念事業として巨大雪ダルマを贈るプロジェクトに参加し

現地の青年グループと意気投合し交流を深めました。

演歌のプロ歌手という情報に、出迎えに来た人は年配者を想像していましたが、気さくに話す若者にすっかり驚いたようでした。プライベートで皆とカラオケ店に行っ得意の曲を連発。友情の輪を大きく広げました。

親しみやすい性格が好感を呼び、サンパウロ州から依頼を受け、4月に再びブラジルに向けて出発。3週間滞在し日系人の多い町を中心に公演活動し、どの会場も盛大な歓迎を受けました。「スキンシップは万国共通。言葉の壁も肌と肌がふれあうことで解消されることが多い」と外国で実感した正木さんは年内にあと数回ブラジル行きが決定し、夢を膨らませ「もちろん、ふるさと安平町や国内の活動も全力で取り組みますよ」と明快にコメント。



初めての外国公演(今年2月10日)

豊かな資源と無限の可能性を秘めて発展する大国ブラジルに正木さんは今後も熱いエールを送り続けていきたいと話しています。